



グループ全体で決済システム ソリューションを一元化

業界：産業サービス

地域：欧州、北米、中東

課題

- ・インターネットバンキングと財務管理に20以上の異種システムを使用
- ・複雑なデータ照合
- ・透明性、可視性、セキュリティの欠如

ソリューション

- ・ Coupa Treasury

成果

- ・ 銀行手数料15%削減
- ・ 処理コスト30%削減
- ・ 口座管理関連の事務作業50%削減
- ・ 透明性、可視性、セキュリティ100%向上
- ・ 導入に対する満足度100%
- ・ POBO（代理支払い）などの追加プロジェクトの枠組みを実現

Bilfingerは、業界をリードする国際的な産業サービスプロバイダーです。同社は、企業資産の効率化、高いサービス可用性の確保、メンテナンスコストの削減をサポートしています。同グループの事業ポートフォリオは、コンサルティングからエンジニアリング、製造、組立、メンテナンス、工場増設、定期保守に至るまでバリューチェーン全体をカバーしており、それに加えて環境テクノロジーやデジタルアプリケーションにも対応しています。同グループの顧客には、化学薬品・石油化学、エネルギー、石油・ガス、製薬・バイオ医薬品、冶金、セメントなどの分野の企業があります。

Bilfingerグループは、主に欧州、北米、中東で事業を展開しています。従業員36,000名を擁する同グループは、2019年会計年度に43億2700万ユーロの収益を計上しました。

断片化していた各種システムの統合

同グループでは、組織再編に伴い財務管理構造に影響が及んだことを受け、新たな財務・資金管理システムを探すこととなりました。

断片化が大幅に進行していた電子バンキングシステムとIT環境を統合し、グループ全体を可視化および透明化した上で、グループ全域に適用される安全基準を確立するためには、新しいシステムが必要だったのです。新システム探しは決済ニーズに基づいて行われました。マルチバンクや複数国との決済に対応した統合型決済ソリューションであるCoupa Treasuryであれば、システム一元化の要件をととても効率的に満たせることが分かりました。

会社と財務管理の概要

同グループの財務管理本部は、顧客窓口担当者4名、財務管理業務担当者4名、支払処理担当者5名、財務管理責任者1名、財務管理責任者アシスタント1名の計15名で構成されています。

同本部は、15か国に展開する80の事業会社に代わり、資金調達、キャッシュ・流動性管理、FX管理、支払処理を集中的に担っています。

Bilfingerグループは、300の電子銀行口座に関して7行のコアバンクと連携していますが、そのうち210の口座で電子決済が行われています。

“マルチバンク決済に対応したCoupa Treasuryプラットフォームを導入したことで、銀行手数料を約15%、処理コストを約30%削減することができました。マスターデータや口座、ユーザーメンテナンス関連の事務作業も半減しました。”

Bilfingerグループ
キャッシュマネジメント/
リスクコントロール部門責任者
Martin Engelhardt氏

ユーザー権限の定義と統合

Bilfingerグループの支払プロセス変革プロジェクトでは、初期の取り組みの1つとして安全なユーザー権限モデルと具体的なユーザーロールを定義し、その両方をCoupa Treasuryに実装しました。このシステム導入により、フロントオフィスとバックオフィスの役割が切り離されたため、安全かつシームレスな決済処理を常態的に保証する基礎的なセキュリティ基準を強制執行できるようになりました。

Bilfingerグループは、マスターデータ管理も集中化することにしました。財務管理本部がグループ全体のすべてのデータをCoupa Treasuryに入力し、このシステム内でデータを管理するため、2つの承認（dual-approval）要件を満たします。

自動プロセスによる決済のセキュリティ

Bilfingerグループでは、ユーザー権限を定義することに加え、国際規格ISOに基づく標準的な支払方法を採用しました。STP（ストレート・スルー・プロセッシング）により、社内のSAPシステムで生成された支払ファイルを直接Coupa Treasuryにインポートし、同システム内で処理できるようになります。

同グループはCoupa Treasuryで多数のプロセスを自動化することで閉鎖循環型のプロセスに移行できたため、セキュリティが大幅に向上しました。全世界の決済処理に関する口座取引明細書と一括支払ファイルは、自動的にインポートされます。

さらにCoupa Treasuryは、社内の市場データに加えて360Tとの統合接続をサポートするなど、市場データについても財務部門を支援しています。Bilfingerグループでは、この360Tとの接続を利用して取引を行ない、その取引はCoupa Treasuryで電子照合されます。それが欧州市場インフラ規制（EMIR）の報告要件に該当する場合は、取引情報蓄積機関であるRegis-TRに直接報告できるようになっています。



バンキングの情勢と銀行接続および展開

Bilfingerグループは、銀行接続に関して「80:20の法則」に従い、まずは決済件数が最も多い銀行接続を変革する取り組みを開始しました。

Coupa Treasuryを利用した支払プロセスの実装プロジェクト開始からわずか数か月後には独自の金融機関識別コード（SWIFT/BIC）を取得し、国際金融決済システムSWIFTのSCOREネットワークに接続できるようになりました。電子照合の統合に続いて、国際決済プロセスを展開したのです。

Bilfingerグループにとっては、国際決済に関連してSWIFTネットワークを利用できることが特に重要なメリットとなっています。SWIFTネットワークに接続することができれば、サードパーティーの銀行からでさえ、一年中24時間いつでも手軽に口座取引明細を入手することができるのです。社印を登録したことで、国を問わず正式署名の管理が簡略化されました。

まとめ

Bilfingerグループでは、複数国およびマルチバンク決済に対応した統合型ソリューション「Coupa Treasury」を導入したことに加え、SWIFTネットワークへの接続が可能になったことで、20種類以上のスタンドアロン型電子バンキングシステムと特定機能に特化した財務管理システムを撤廃することができました。

この一元的なシステムソリューションにより、支払処理の効率性とセキュリティが大幅に向上し、調和のとれた支払プロセスが実現しました。銀行手数料を削減できただけでなく、口座管理に関わる事務作業も50%以上削減することができました。

Bilfingerグループでは、支払プロセスが改善できただけでなく、国際金融取引のためのSWIFTネットワーク接続を利用することで、銀行取引明細書の収集や、国際取引の処理・照合の電子化も実現しました。



Coupa Treasuryを 選択した理由：

- 高度な統合
- 実証済みの使いやすさ
- サービス範囲
- 統合型の
決済ソリューション
- インターフェースの削減
- 照合機能の統合

Coupa Treasuryの詳細については、
こちらをご覧ください。